

一万㎡以上の

土地売買は届出が必要

村内で一万平方メートル以上の土地の取引を行うときには、届出や土地価格の引下げを出さなければならぬことになっています。この届出は、国土利用計画法という法律（昭和四十九年施行）に

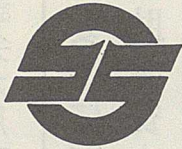
めるとこの基準に当てはまるような場合にも届出が必要です。国土利用計画法は、地価の安定と国土の計画的な利用を図る、土地対策の要となる法律です。

届出は知事に提出し内容審査します。土地の価格がまわりの土地より高かったり、定められた土地利用の計画

届出用紙は役場にあ

りますので、該当する場合は必ず届出を行ってください。

広報きたうら



No. 194

昭和52年10月25日発行・発行と編集
茨城県行方郡北浦村役場 ☎02915-2111

よく見ていこう！北浦科学展の目

北浦科学展



第2回の北浦科学展を開いたところ、百八十点もの出品がありました。

夏休みにつくられた作品だけに、細部までよく目のとどいた理科作品や、これは便利という発明工夫の作品がたくさんありました。

入賞者をお知らせします。

■理科作品

小学校の部

〈村長賞〉○夏休みの天気調

べ、男庭直子（小貫小五）

〈議長賞〉○へちまのかんさ

つ、小林身知子・山中清美・

羽生仁子（津澄小三）

〈教育委員長賞〉○赤い水は

へらない、成田高志（新城小

四）○メダカ

の習性、武田映

子（要小五）

〈教育長賞〉○

さつまいものつ

るのび方、掛

田喜久代（要小

一）○ひまわ

りのかんさつ、

真家延子外三名

（津澄小二）

〈公民館長賞〉

○あさがおのか

んさつ、山野恵

美子（津澄小一）

○ひまわりのか

んさつ、松本正

孝（小貫小二）

○土のちがいに

よるへちまのそ

だて方、浅野真

知子（小貫小三）

○うき草の観察、

金田ひろみ（要小五） ○と

うもろこしの育ち方、武田敦

子（新城小五） ○ありはど

んな行動をするか、成田礼子

（新城小五）

中学校の部

〈村長賞〉○北浦の水のよご

れ、矢口善哉（二）

〈議長賞〉○北浦村の地層の

研究、伊東弘子（三）

〈教育委員長賞〉○野菜くだ

ものの汁の性質と色素、高柳

さえ子外三名（三） ○微生

物の研究、小貫明美（三）

〈教育長賞〉○食品色素の研

究、梶山恵子外四名（三）

○ほうせん花の花粉の発芽、

本沢保子外一名（三）

〈公民館長賞〉○光色の位置

と光合成、滝尚史（二） ○

光の色と蒸散作用、山崎和久

（二）

■発明工夫

〈村長賞〉○スプーン付アイ

スクリーン容器、山野典昭（

津澄小六） ○便利な糸まき

鬼沢和美（北浦中三）

〈議長賞〉○改良ゆうびんポ

スト、宮河清（小貫小三）

○タイや保護台、塚本誠（北

浦中三）

（次ページ最下段へつづく）

村議会九月定例会

要小に屋体
助産費六万円などを可決

北浦村議会第三回定例会は九月二十六日に開会し、補正予算など六議案を可決して、二十八日閉会しました。

今回は、一般会計と国民健康保険特別会計の補正を行な

選挙費（研修旅費）五万四千円、統計調査費（旅費）一千円

○民生費
老人福祉費（芸能発表作品展）十二万円

○衛生費
簡易水道事業調査費五百六十四万円、負担金（かくり病舎、清掃組合）十五万三千円

○農林水産業費
農業委員会費（臨時雇用賃金）十萬五千円、農業総務費（臨時雇用賃金）三十四万三千円、農業振興費（整備計画変更基礎調査、印刷製本費）五十七万二千円、土地改良事業費二百八十一万九千円

○土木費
道路工事請負費七百三十万円

○消防費
非常備消防費（火災訓練、操法訓練、退職報償掛金）百九万四千円、消防施設費（次木機庫、吉川消火栓など）二十六万七千円

○教育費
臨時雇用賃金四十五万四千円

○小学校費
津澄小工事（廊下、サッシ、漏電ブレーカー）百六十万八千円、三和小工

（前ページより）
○教育委員長賞
とし器、田谷一浩（要小五）
○雨ふり非常ベル、額賀栄作（新城小六）
○自在電池ボックス、原田光雄（北浦中二）
○教育長賞
○便利なハンガ、田所利晴・岡崎明男（要小三）
○照明付耳かき、溝口喜美男（津澄小六）
○包丁、塙洋子外二名（北浦中三）
○コインホルダー、成田征都（北浦中三）
○公民館長賞
○改良ふきだけ、大塚正徳（小貫小三）
○虫とり機、伊原徹（新城小三）
○作文用紙印刷機、宮内正己（新城小六）
○長ぐつほし器、河野貞夫（三和小六）
○カッター付コンパス、高柳利博（北浦中三）

■議案第42号

北浦村公告式条例の一部を改正する条例について
掲示板を公民館武田分館から、就業改善センターに移動しました。

■議案第43号

昭和五十二年北浦村一般会計補正予算について
三千四百七十四万円を追加しました。これで歳入歳出予算の総額は、十四億九千八百五十三万二千円になりました。

歳入は、村債千七百万円、地方交付税千四百三十三万四千円、県支出金の二百六十万三

千円が主なもので、他は国庫支出金と交通安全対策特別交付金です。

歳出の主なものはつぎのとおりです。

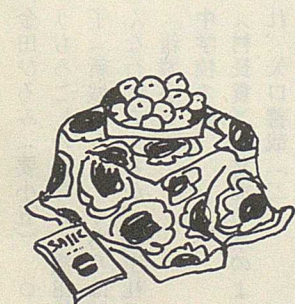
○議会費
普通旅費二十一万七千五百円

○総務費
退職手当組合特別負担金三百六十二万九千円、駐車場整備工事費百六十四万四千円、防犯対策費（防犯灯）十一万円、交通安全対策費（赤色回転灯制服）五万五千円、徴税費（トラクター標識）四万五千円

○消防費
非常備消防費（火災訓練、操法訓練、退職報償掛金）百九万四千円、消防施設費（次木機庫、吉川消火栓など）二十六万七千円

○教育費
臨時雇用賃金四十五万四千円

○小学校費
津澄小工事（廊下、サッシ、漏電ブレーカー）百六十万八千円、三和小工



高柳利博（北浦中三）

■議案第44号

さく泉補助償五万円

北浦村国民健康保険条例の一部を改正する条例について
助産費を四万円から六万円に、葬祭費を五千円から一万円に引上げて支給します。

■議案第46号

北浦村立要小中学校屋内運動場新築工事請負契約の締結について
要小に屋内運動場を新築します。工事は、五千九百五十万円で山形工務店（日立市）が請負いました。

新教育委員会委員は、池田静さんです。北浦村大字南高岡、大正十四年生。

臨時会

■議案第45号
昭和五十二年北浦村国民健康保険特別会計補正予算について
助産費と葬祭費を引上げたことによる補正で、百四十九万三千円を追加し、歳入歳出それぞれ三億七千四百四十九万円の予算になりました。

■議案第47号

北浦村道路線の廃止について
土地改良事業を実施するた

北浦村道路線の廃止について
保育所設置に伴って、旧道区間の一部の供用を廃止するために行ないました。原口道で中根字八幡下の百十メートルです。

■議案第49号

教育委員会委員の任命について
小貫喜曾寿さんが九月三十日で任期満了となったため提案し、議会の同意をえました。

庁舎建設関係の予算補正をしました。七百一十五万円を減額し、歳入歳出予算は十四億九千五百一十一万七千円になりました。

躯体工事費八百九十一万三千円減、設計管理六十万三千円、常駐監督一万円、設計変更分百二十八万五千円

消費生活相談を開始
— 鉾田合同庁舎 —

皆さんの消費生活が、さらによくなることを願って、専門の消費生活相談員を地方総合事務所に配置しました。

食料品・衣料品・住居品など商品の選び方をはじめ、苦情相談等消費生活に関するすべての相談に応じています。

相談員が皆さんと一緒に考え、解決のためのお手伝いをしますので、お気軽にご利用してください。

◇受付 月～木曜日 9時～4時半
金曜日 9時～正午
◇場所 鉾田町県合同庁舎 鹿行地方総合事務所 生活商工課内
☎ 鉾田 3—4111

自治金融で
事業資金の融資を

自治金融制度は、商工会が中心となり、村内の中小企業者に対して事業資金を融資する制度です。

(1) 対象者：村内に住居及び店舗・工場などがあり、一年以上営業実績のある方 (2) 融資限度：設備資金五百万・運転資金三百万 (3) 貸付期間：

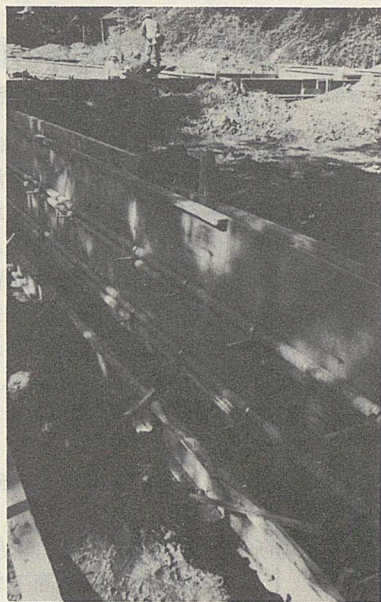
五十ヶ月以内 (4) 保証人：一名以上 (5) 金利：八%

商工貯蓄共済は
貯蓄・融資・保険が一つに

商工貯蓄共済融資制度は、商工会会員の方々の生活を安定させる道として、貯蓄をし、自己資本の造成とその資本による有利な金融を行うものです。さらに、生命の万一にそ

なえ、低い掛金による共済制度を組み入れています。

商工貯蓄共済の特長
○貯蓄：月々わずかな掛金でしらすしらすのうちに貯蓄
○融資：加入者に対し融資します。設備資金五百万限度で五年以内。運転資金三百万限度で三年以内。利率七・五%
○保険：死亡は、保険金四十万円で貯蓄積立金の元利合計額 申し込みは商工会へ



▲ 建築のすすむ幼稚園

【シリーズ】 北浦村の未来を追って

4 教育と文化を高めるための施策

(1) 学校教育

(現況と問題点)

本村には、幼稚園一校、小学校五校、中学校一校が公立で運営され、私立の中学校が一校、全寮制で運営されている。

児童生徒数は、やや漸減を示しているが、長期的には現況と大差なくほぼ横ばい状態にある。

教育施設の整備面では、幼稚園舎の新築が急がれている。小学校は防衛庁の協力を得て年次的に整備され、工事中のものを含めて約八割が完了し

ている。中学校は、やや老化の感もあり再整備を検討する時期に達している。

社会構造の変化にともない教育への期待感の高まりは、従来の素朴な住民感情に支えられていた学校と地域との信頼関係にも微妙な変化をもたらし、個々の児童、生徒の教育環境の多様性をふまえた総合的な整備計画との調和をはかりながら、学校の地域開校の試みなどにも積極的にとりくむ姿勢とともに、教育水準の向上をはかっていかなければならない。

(2) 幼児教育

(現況と問題点)

五才児を全入とする幼稚園は一園のみで、義務化への傾向と共に、父兄の幼児教育への高まりはいうまでもなく、園児の増加するなかで、幼・小・中一貫教育の立場から検討し位置づけなければなら

い。

学校教育、社会教育の両面について見ると、現在の児童生徒数は減少する傾向にあるが、学校施設、社会教育施設等の整備充実をはかり、近代教育を実施することは当然であり、また、将来を想定する

ときコミュニティセンターとしての機能をもつ施設整備には計画的に進めなければなら

健康で明るい良好な教育環境のもとで、学力の格差が生じないよう関係町村との連携を強め、質量両面の確保と充実に努める。

特に、学校の新設等に当たっては地区への解放にも十分機能にこたえ得るよう、広い視野に立つた教育総合計画の立案が望まれる。

(3) 社会教育

(現況と問題点)

都市化的生活現象は、本村においても徐々に現われ、広域的な生活行動と併行して、教育環境として大きな影響を受けることは無視できない。

これに伴う地域住民の行政需要の高まりと並行して、学習要求も多様化の傾向を示している。環境整備としては、生涯教育の体制づくり、また、家族教育学級、青年学級、婦人学級、高令者学級等を集める中でよりよい人間関係と現代社会に適応するよう計画する。

また、住民活動の拠点としての意味もふくめ、社会教育の実践の場である公民館もその機能を十分に発揮できないでいる。学校施設の地域解放も積極的に進め、余暇対策、スポーツ人口の拡大を意図しながら、指導者の育成も試み、社会教育の態勢を整え、田園都市としての新しい村づくり最大の課題において連帯の輪を広げていかなければならない。

(施策の方向)

社会教育のあるべき姿を求めて、態勢を整えるために公民館の拡充整備は、最優先事業として考えなければならぬが、現状認識のうえに立つて最大活用も重要な課題である。

学校教育施設の地域社会へ

の解放は、中学校に多く望まれるものであるが、小学校の体育館等も、この機能を十分加味した施設として誕生させるべきと思われる。

学校、家庭、社会教育の接点ともいえる児童館等の施設も、将来のビジョンとして検討し、広域圏での調和を図りながら安易に単発的な活動に終ることなく心がける必要がある。

これらの施設活用の確保とともに、人材の確保に努め、社会教育の本質に迫る組織づくりを急がなければならない。

(次号につづく)

人権法律相談

とき 12月14日

午前10時～午後3時

ところ 北浦村中央公民館
人権侵犯、公害、不動産、交通事故など無料で相談所を開設します。

人権擁護委員に

倉川さんを再任

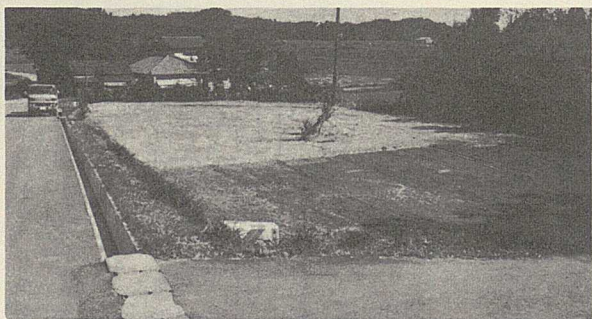
法務局より、人権擁護委員に倉川光輝さん(内宿)が再任されました。

人権擁護委員は、みなさん

の人権を守るために、つぎのような仕事をしています。

○自由人権思想に関する啓蒙
○人権擁護運動の助長
○人権侵犯事件の救済、調査報告など
○貧困者に対する

訴訟援助



来年、保育園オープン

藤崎さんら 中根へ法人で

覚を養う遊びをします。従事する職員は、七人の予定です。

この事業を計画したのは、中根の藤崎久男さんを中心とする有志の方です。「社会福祉法人中根福祉会」として発足させ、四月の開所をめざして準備をすすめています。

最近、鹿島をはじめ企業へ勤める方が多くなりました。農業も主婦と老人の手で行なわれる。いわゆる兼業化が進んでいます。こういう中で、乳幼児の保育に手が回らなくなる場合が多くなっています。そこで、このような状態を解消しようという事で、この保育園の設置を始められたそうです。

園舎は、藤崎さん宅の前に建築されます。木造コロニアル葺平屋で、約四百平方メートルの大きさです。

村では、この事業に対して指導や補助を行ないながら、よりよい運営ができるようすすめています。

(写真は地鎮祭を終えた建設現場)

最賃二六八円に改正

茨城県内の事業場に働く、すべての人々に適用される茨城県最低賃金が、改正されました。一日二千二百六十八円、パートタイマー等時間給労働者については、一時間二百八十三円五十銭です。十月の二十六日から効力を発生します。なお、これには、精皆勤手当、家族手当、通勤手当は含まれていません。

労働基準監督署

主婦のパートと税金

最近、パートで働きたいという主婦が多くなっています。パート収入と所得税の関係について説明します。

主婦のパートによる収入が年間七十九万円(月平均約六万五千八百円)以下で、他の所得がない場合には税金がかかりません。

また、収入が年間七十万円(月平均約五万八千円)以下であれば、御主人の所得から配偶者控除が受けられます。

潮来税務署

スポーツ



バドミントン

男子

- 一位 清水 則夫(内宿)
- 二位 小田 裕康(三和)
- 三位 塙 勝浩(行戸)

女子

- 一位 阿須間和子(中根)
- 二位 塙 恵子(行戸)
- 三位 小田由美子(三和)

9月25日

テニス

- 一位 筒井一雄(中学校長)
- 二位 泉治(山田)組
- 柴田正己(山田)

九月に、北浦村軟式野球連盟が結成されました。会長に

小沢健一(繁昌)組
三位 浜内正充(山田)・方波見重徳(吉川)組
10月16日
今回から、テニスの部に、優勝者にもち回りのカップができました。
多くのみなさんの参加をおまちしています。

へこれからの予定

11月20日 ママさんバレー・お父さんソフト

1月29日 第二回バレーボール大会(六人制)

2月19・20日 スキー教室

土をつくろう

公民館で講演会

農業の基本は「土づくり」と言われるくらい、良質の土壌を維持することは重要なことです。土づくりについでに講演会を開きますので、ぜひ参加してください。

日時 十一月十九日

午前十時から

場所 北浦村公民館

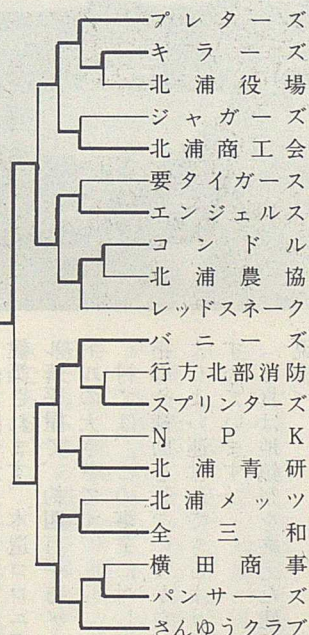
講師 農学博士石川昌夫

軟式野球連盟発足

秋の優勝はエンジェルズ

本沢征四郎(役場)、副会長に酒井和三郎(繁昌)・額賀正夫(長野江)さんが選ばれました。現在二十二チームが加盟しています。行事は、春と秋に大会を予定しています。申し込み等は、事務局長の松下吉雄さんへ連絡してください。(役場二二一一)

なお、発足と同時に秋季大会が開催されました。今回はトーナメント方式で試合が行なわれ、エンジェルズ(成田)が優勝しました。(写真)



善意の窓

新城小へ、つぎの方々から寄贈がありました。

○長野江栗侯文男さんより、南極の氷と岩石 ○次木五十野千代さんより、さつき苗四十本 ○両宿額賀淳さんより、芝生用肥料五俵 ○長野江栗侯誠・栗侯勇・額賀正夫さんより、野外教室用ふじの木五本 ○両宿鈴木寛さんより、来客用茶わん五十個 ○三和大竹口清司さんより、うさぎ二羽 ○次木塙昇さんより、体育用具倉庫の修理 ○両宿岡部寛次さんより、テント鉄骨修理・ポール修理 ○成田高柳広・久米孝聡さんより、除草剤と除草奉仕 ○次木河野正さんより、鑑賞用教材のひごい十キログラム

人口の動き

住民基本台帳調(9月末)

人口	11,280
男	5,618
女	5,662
世帯数	2,542
転出	14
転入	11
出生	9
死亡	2